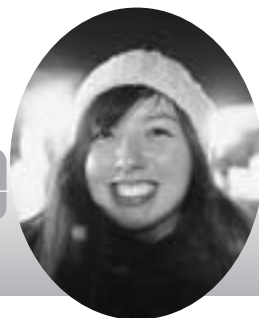


# No.4 A WORD FROM ANOTHER WORLD



## Small Town Life

Stacey Fujikawa

Hello everyone! I haven't met everyone in town so I thought I would take this opportunity to tell you a bit about myself. I am from a small town in Canada that, believe it or not, is a little smaller than Higashikawa. I always run into someone I know at the bank, supermarket, or on the street. I grew up attending schools about the same size as Higashikawa, knew all of my classmates, and most of their families. My teachers knew my two older brothers from previous years so they easily recognized the Fujikawa name when I entered their classes.

I am sometimes told that my last name is cool during introductions in Canada. In Japan I often find that people are curious about my Japanese heritage, which I am very flattered for the interest. I am half Japanese and third generation Japanese-Canadian. My father is of Japanese ancestry and my mother is of German ancestry, however both of my parents were born in Canada. My grandpa was originally from Kumamoto, Kyushu and moved to Canada in his 20's. My grandma was born in Japan and moved to Canada with her family when she was a child.

My Japanese heritage has always been of great interest to me. When I was seventeen I participated in a home-stay exchange to Wakayama, Japan. I studied Japanese for two semesters in university. I have danced in the Cherry Blossom Festival parade in San Francisco and have worked at a Japanese Garden.

I have now been living in Higashikawa for over six months, which is hard to believe. Time flies when you're having fun!

### スモールタウンライフ

ステーシー フジカワ

みなさん、こんにちは。まだお会いしていない人もいますので、この場を借りて自己紹介させてください。驚かれるかもしれませんが、私が育ったカナダの町は東川より小さかったです。銀行、スーパーマーケット、まちかどで、しょっちゅう知人と会います。学校の規模もこの町と同じくらいで、クラスメート全員とその家族もほとんどが知り合いです。兄が2人いたので、学校の先生もすぐあの「フジカワ」だ、と分かったようです。

自己紹介の時、カナダでは私の苗字は「格好いい」と言われることがあります。日本では、日本人の血を引いていることに興味を持たれます。関心を持ってもらえるのはとてもうれしいです。私は日系カナダ人3世です。両親はカナダ生まれですが、父方の祖父が九州熊本出身で、20代の時にカナダに移住しました。祖母も日本生まれで、子供の時家族とカナダに移住しました。母方の祖先はドイツ系です。

私自身も自分が日本人の血を引いていることに大変興味があり、17歳の時には、交流事業で和歌山にホームステイしました。大学では2期に渡り日本語を学びました。またサンフランシスコの桜祭りのパレードで踊ったり、日本庭園で働いたこともあります。

信じがたいことですが、この町に来てもう半年以上になります。楽しい時って、時間が飛ぶように過ぎていきますね!

(訳:宮地晶子)

### 【ちょっと豆知識】

宮地晶子

文中、ステイシーは、自分の名前を「cool(クール)」と言われる、と書いています。「格好いい」と訳してみました。しぐさや行動が格好いい、という意味で使われます。もちろん「冷静な」という意味もあり、荒川静香は海外メディアに「Cool Beauty(ビューティー)」と呼ばれていました。この2つにとどまらず、あまり意味を持たせず、単に相づちとして「cool」と使うこともあります。

英語教育指導員 宮地晶子の

## エイゴのマナビカタ

第83回

### スカットと一曲!

my life...♪、「一生忘れない場所がある...」。東川中学校生徒のきれいな歌声が教室に響きます。少し照れながら歌っている彼らを見ると、胸が熱くなります。この歌詞みたいに、彼らもいつかこの町を離れて、故郷を思うのかな。

私がこの曲に出合ったのも中学生の時。ひたすら歌い、気がついたら英語が得意になっていました。一曲との出会いが一生を変えるかもしれない。もっともっと生徒と歌を歌いたい。この気持ち、音楽の先生に負けないかも。でも、実際は教科書に載っている歌はたった3曲で、

つい先日、英語の教科書にビートルズの「In My Life」が出てきました。ジョン・レノンがイギリスの故郷、リバプールを歌った美しい曲です。

「There are places I'll remember all

それすら満足に歌う時数がない。「You are my sunshine. My only sunshine. You make me happy when skies are grey...♪、なんて歌えば、makeの意味なんて自然に分かる。「I just called to say I love you...♪、と歌えば「TO不定詞」なんて言葉はいらないのに...。

そんなことを思っていたら、NHKテレビ(Eテレ)で新しい音楽教養番組が始まりました。「アンジェラ・アキのSONG BOOK in English」(毎週土曜日午後11時から30分番組)です。洋楽の歌詞の世界を読み解き、それを日本語にして歌う、という番組。

「日本語で歌う」というところはちょっと私の趣味とは違いますが、とにかく名曲ぞろいです。2月はボズ・スキャッグスの代表曲「We're all alone」(前・後編)とマドンナのワールドワイド・ヒット「Material girl」(同)。3月はシンディー・ローパーの代表曲「True colors」(同)、そしてパッド・フィンガーの大ヒット「Without you」(同)。聞いたらすぐに、どれも「知ってる!」と思うはず。録画すれば何度でも英語字幕付きで歌えます。これを使わない手はない! 歌うとスカットします。リズムに乗れるころ、イントネーション、発音、リスニング力の大幅アップ間違いなしです。